

平成20年11月5日 第23回市川海岸塩浜地区護岸検討委員会資料  
工事から2年後の検証・評価 < 景観・親水性 >



平成20年11月

参4-1

個別目標: 利用・・・人々と三番瀬の触れ合いの確保

参4-2

目標達成基準1

三番瀬の海岸として好ましい景観が形成されること。

目標達成基準2

人々と三番瀬の触れ合いが確保されていること。

平成19年度の評価結果

景観  
の  
評  
価

・H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸やH17年度のイメージよりも景観に関して肯定的に評価されたものとする。  
・ただし、護岸のより“自然的な”イメージについては今後も検討の余地があるものと考えられる。  
・石積護岸にした場合、ゴミの問題が発生することに関しては、今後の検討課題である。

親  
水  
性  
の  
評  
価

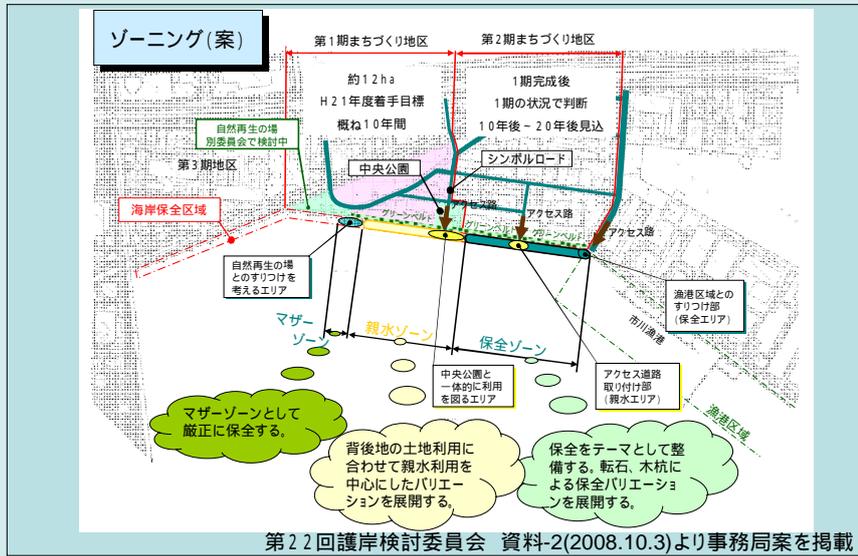
H18年度の護岸改修イメージは、現時点において改修前の護岸やH17年度のイメージよりも触れ合いの確保に関して肯定的に評価されたものとする。ただし、護岸の“安心・安全な利用”や“楽しさ”について、今後、バリエーションの検討を行う上で改善策を検討する必要がある。

平成20年度は平成19年度の評価結果をうけて、護岸検討委員会において  
護岸のバリエーション、緑化試験計画、砂つけ試験の検討の取り組みを行った。

## 景観・親水性の向上にむけた検討の取り組み

### 護岸バリエーションの検討

現在、背後の“まちづくり計画”や隣接する“自然再生の場”との調整を図りながら、護岸バリエーションの検討の進め方について議論を行っている。

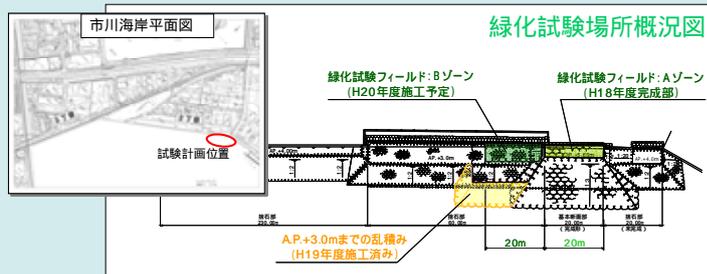


参4-3

## 護岸の緑化試験計画の検討

自然石で形成される石積護岸の景観の改善や、利用空間としての場の向上を図ることなどを目的に緑化試験計画を検討。

- ・試験場所：H18年度完成断面部分およびH20年度被覆予定部分とする。



Aゾーン



Bゾーン



参4-4

## 護岸の緑化試験の実施（H21.4追加資料）

### 【緑化試験の実施 種まき・株の移植 H21.3.18】

- ・緑化試験の種まき及び株の移植を市民参加により実施した。



Aゾーン(H18年度完成断面)における株の移植状況

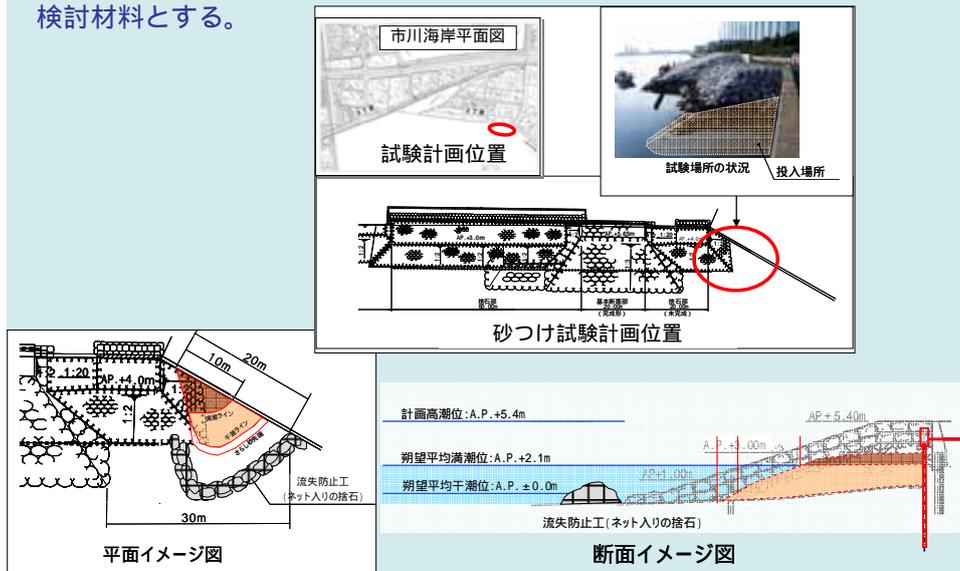


Bゾーン(H20年度完成断面)における株の移植状況

参4-5

## 砂つけ試験計画の検討

目的：1丁目隅各部の静穏域を利用して、さらし砂を投入した場合の砂の挙動と、そこに形成される生物相を確認し、今後の護岸バリエーションの検討材料とする。



参4-6